



# 我ら岬中

= 教育目標 =

自他を大切に作る心と態度を養い  
自己有用感をもてる生徒の育成

- ・人権尊重の視点に立った学校づくり
- ・「誰かの役に立てた」という集団の一員としての自信の獲得

いすみ市岬町椎木 1370

	男	女	合計
1年	50	49	99
2年	42	46	88
3年	57	48	105
合計	149	143	292

## MISAKI R / Light UP project 始まる!

～お互いを明るく照らし合える岬中を目指して～

### 「R/Light UP(ライトアップ)」とは?

JRC委員会により、『MISAKI R/Light UP project (ライトアッププロジェクト)』の取組が始まりました。人権 (Human Rights) 意識の向上 (UP) と、灯台などの明かりを“点ける”“照らす” (Light UP) という言葉の、両方の意味をかけた『R/Light UP』。「一人ひとりが自分のこと、相手のことを尊重し大切にしよう」という願いを込めたプロジェクトです。

### アンケートで課題を明らかに

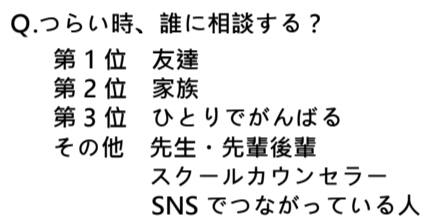
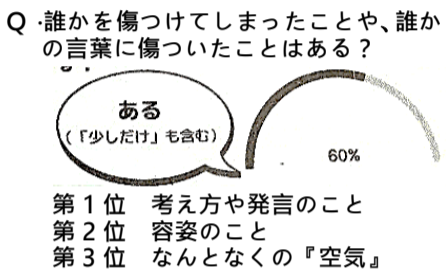
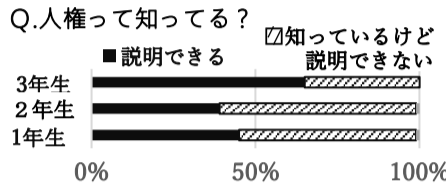
プロジェクトを始めるにあたり、「人権意識に関するアンケート」を実施しました(右)。「人権」という言葉を知らないという人はほとんどいませんでしたが、約5割の人が説明できないという回答でした。「誰かを傷つけてしまったことや誰かの言葉に傷つけられたことがある」という人は約6割。傷つけあってしまったことの内容は「考え方や発言のこと」「容姿のこと」「なんとなく『空気』」が多くありました。「考え方」も「容姿」も「ちがひ」の表れやすいところです。つらいとき相談する相手は、「友達」「家族」「ひとりで頑張る」という回答が上位を占め、「先生」「先輩後輩」「スクールカウンセラー」が続き、「会ったことはないがSNSでつながっている人」という回答もありました。JRC委員からは、「ひとりで頑張る」という人の多さを心配する声があがりました。

アンケートの最後に、岬中がどんな学校だったらもっと楽しくなると思うかを考えました。「みんながほかの人のことも大事にできる学校」「みんなが笑顔で寄り添い合える学校」「皆が自分を出して、分かり合える学校」、「一人ひとりに相談できる人が一人でもいる学校」など、たくさんの意見がありました。

### 共有し、行動へ

1月16日、オンラインを活用しながら全校一斉に学級会を開き、アンケート結果を共有しました(写真右上)。そして、JRC委員会が自分たちで制作・出演した動画を放映し、日頃の生活の中で誰かを傷つけてしまっていることがないか振り返り、岬中が一人ひとりにとって居心地のよい学校となり、自分の力を思う存分発揮できる学校になるよう、全校生徒みんなで考え、取り組んで欲しいと呼びかけました。

そのための第一弾として、クラスごとに「人権意識を向上させ、お互いを明るく照らし合う」ための合言葉づくりに取り組みました。今後、さらに第二弾、第三弾と活動を進めていく予定です。



## インタビュー 箱根駅伝優勝を支えた先輩 駒澤大学陸上競技部主務 並木大介さん

正月の箱根駅伝を制した駒澤大学。ゴールの歓喜の輪の中に本校の卒業生がいました。並木大介さん。2年生ながら駒澤大学陸上競技部の主務を務めています。主務は、裏方の仕事を一手に担う役職。箱根駅伝でも、運営管理車に大八木監督と同乗していました。その並木さんが、1月6日、本校を訪ねて下さいました。せっかくの機会、早速インタビュー動画を撮り、10日の始業式で視聴しました。インタビューの一部を紹介します。

Q.主務として、優勝の瞬間どんなことを感じましたか?  
A. 往路から接戦でずっと冷や冷やして、いざゴールした瞬間は、とにかくホッとして嬉しかったです。

Q. どうして駒澤大学駅伝部のマネージャーになろうと思ったのですか?  
A. 高校で進路を決める時に、意識低い選手としてやるよりは、マネージャーとしてでも強いチームで日本一を目指したいと思いました。高校の中で指定校推薦を勝ち取らなければならなかったため、その枠に入れるように成績を上げることも含めてできるだけのことを行いました。

Q.部員の皆さんは、普段どんな生活を送っているのですか?  
A. 5時40分から朝練習をします。本練習は、午前大学の授業がある者は夕方からの練習に、午後授業のある者は午前練習に参加します。あくまでも授業が優先です。

Q.主務として気を付けていることや大変なことは何ですか?  
A. 自分の目で周りを見ながらその時の選手一人ひとりの状態を頭に入れて、落ち込んでいる選手には声を掛けたり、調子がいい選手にはケガをしないようにささいなことでも声を掛けるようにしています。大変と思うかどうかは気持ち次第だと思っています。この仕事自体が大変なことはわかっていたことなので、大変なのが当たり前という気持ちでやっています。

Q.岬中学校の後輩の生徒に一言お願いします。  
A. 小さい目標でも大きい目標でも、目標をつくることで、それを軸にして自分が成長していけるというのを自分は体験してきました。そして、目標をついたら自分の中でとどめるのではなく、それをみんなに発信していくといいと思います。ぜひ自分の目標を語る人になって欲しいなと思います。そして、夢や目標を実現するためには準備が大切だと思います。大八木監督から言われることは、準備もできていないのにやると中途半端な人間になってしまうということです。

詳細はHP「校長の部屋」1月11日更新「始業式挨拶(三学期)」に掲載

【3年】  
早春の青空  
早春の青空  
早春の青空

【2年】  
明るい世界  
明るい世界  
明るい世界

【1年】  
初日の出  
初日の出  
初日の出

墨の匂いに  
新春を感じて  
新春恒例の校内書き初めコンクール。今年もたくさんの力作が揃いました。見事、金賞に輝いた9作品を紹介しましょう。

【入賞者】(敬称略) <銀賞>  
<銅賞>

### 職場インタビュー発表会を実施

2年生では、2学期に実施した職場インタビューをプレゼンテーションソフトでまとめ、1年生に向けて発表会を行いました。職業に対する考え方を整理することと、それを表現し伝える技能を養うことが目的です。また、来年度、職場体験やインタビューを行う予定の1年生の関心や意欲を高め、心構えを養いたいと考えました。

当日は、アニメーション機能を駆使したり、クイズ形式にしてみたり、様々な工夫をして発表する様子がみえました。

- <1年生の感想>
- ・一つ一つ丁寧に調べてきたことが伝わってきました。私は薬剤師をやりたいと思っていたので話を聞くことができてよかったです。
  - ・無駄なことを書き入れず、大事なことをシンプルにまとめたので見やすかったです。
- <2年生の感想>
- ・苦手な人前での発表や大きな声を出すことなどが克服できた。
  - ・地域の人たちと交流ができてとてもいい経験になった。

### こども県展に多数入賞!

千葉日報社主催第66回こども県展において、本校の14作品が入賞しました。自画像や地域の風景を描いた作品は、どれも柔らかな色彩で瑞々しい感性に溢れています。入賞作品は美術室に展示しています。

さん(2B)の作品。青空と木立の若葉が灯台の白さを一層引き立てていて秀逸。爽やかな印象が残る素敵な作品です。

【入賞者】(敬称略)

=公立高校入試日程=		※2/20(月)3年生は自宅学習となります。	
出願	2/8~10 正午	※出願は原則として生徒が行います。	連絡黒板
志願変更	2/15・16	※3/3の発表に関する生徒は午後登校となります。	
学力検査	2/21・22	※志願変更書類の提出はご家庭をお願いします。	
発表	3/3		
二次集出願	3/8(志願変更3/9)		
二次検査	3/13		
二次発表	3/15		

